

ふるさと発見！（小・中学生向け） のがくふ みなみが野学府

〈児童・生徒数〉 令和7年5月1日現在

いわたみなみ 磐田南小学校	569人
ながの 長野小学校	227人
なんぶ 南部中学校	415人



いぬづかゆういちろう ひ
犬塚祐一郎の碑
(2024年撮影)

学府名の「みなみが野」は、磐田南小学校と南部中学校の「みなみ」と長野小学校の「がの」を合体して付けられました。南部中学校、磐田南小学校、長野小学校がある「みなみが野学府」は、全体が平地で南に海が広がる地域です。地域の北には東西に東海道新幹線が走っています。

磐田駅の南側の地域は、スーパーマーケットや飲食店、住宅地などで、とてもにぎやかです。大きな工場や静岡産業大学もあります。その周辺には田畑や温室が多く、農業がさかんに行われています。

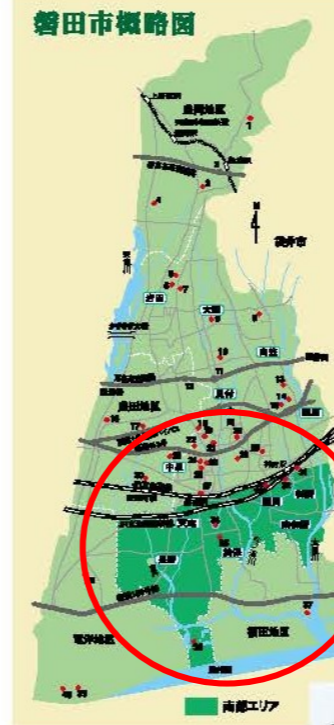
1

なかねきんさく さくてい ほうじゆじ 中根金作 作庭の「宝珠寺の庭」

宝珠寺には、世界的に有名な造園家の中根金作（1917-1995）が作った枯山水という様式の庭があります。金作は、1917（大正6）年に下岡田で生まれました。浜松工業学校（現浜松工業高校）でデザインを学び、浜松市の染色会社の日本形染に勤めましたが、20歳のときに退職し、造園を学ぶため東京高等造園学校に入学しました。宝珠寺の庭は、金作が故郷に作った唯一の庭です。金作が作った庭は全国各地、海外にもありますが、代表的な作品は、足立美術館庭園（島根県安来市）です。そこで金作は、白砂青松の庭と、枯山水庭園の2つの庭を手掛けました。



宝珠寺の庭
(2025年撮影)



磐田南小学校通学区
てんりゅう とよしま きたじま せんずどう まんしょうじ なかの かみおおのごう しもおかた
天龍の一部、豊島、北島、千手堂、万正寺、中野、上大之郷、下岡田、

かみおかた おおわら しもおおのごう はまべ
上岡田、大原の一部、下大之郷、浜部

長野小学校通学区
さめじま こじま のぼこ しらびょうし くささき まえの あらしま ながすか しんこうじ きょうぶじま
鮫島、小島、野箱、白拍子、草崎、前野、新島、長須賀、真光寺、刑部島

みなみが野地区の地図



「静岡産業大学正門」静岡産業大学提供



中根金作生誕地（2025年撮影）



「いわたふるさと散歩（南部編）」磐田市文化財課より

しずおかさんぎょう 静岡産業大学

1994（平成6）年開学の静岡産業大学には、経営学部とスポーツ科学部があります。学生の中には、全国レベルで活躍するスポーツ選手もいます。

2

3

いぬづかゆういちろう ひ のぐちざいしき 犬塚祐一郎の碑、野口在色の碑

犬塚祐一郎（生没年不詳）は、江戸時代後期に天竜川や仿僧川の河川工事をして、この地域を水害から守った幕府の役人です。また野口在色（1643-1719）は、江戸時代前期に江戸で活躍した草崎村出身の俳人です。旧仿僧川の犬塚橋のたもとには、犬塚祐一郎の功績をたたえる石碑と、野口在色の石碑がならんで建っています。

4

せんじゅ まえ 千手の前

千手の前は、駿河国手越（現静岡県駿河区手越）の長者の娘で、鎌倉幕府の源頼朝に仕えた白拍子（男性の衣装を着て舞を舞う女性）でした。源平の合戦で敗れて頼朝に捕らえられた平重衡との悲しい恋のおはなしが有名です。千手の前は重衡の死後、野箱の西側の白拍子地区に住んでいたとの伝説があります。

5

みどりじゅうじき 平和の使者 緑十字機

国道150号線からゴルフ場のしげみを抜け、防潮堤を越えると、まっすぐな砂浜が広がる海岸に出ます。遠州灘に面した鮫島海岸です。

ここは、1945（昭和20）年8月20日の夜、「緑十字機」という日本軍の飛行機が燃料切れのため不時着したところです。緑十字機は、戦争を正式に終結させるための降伏文書などを運んで、フィリピンのマニラから東京へ向かう途中でした。

地元の人は、困っていた乗組員たちを助け、飛行学校（現在の竜洋袖浦公園）のトラックで浜松飛行場に送り届けました。そして、乗組員たちは無事に東京へ帰ることができました。

連合国から受け取った降伏文書などの重要な書類は無事政府に届き、9月2日、連合国の代表が降伏文書に調印し、正式に戦争が終わりました。



緑十字機不時着の碑
(2025年撮影)

6

おおいけ ふしぎな池 大池

二之宮にある大池は、大昔の海が池として残された内陸性干潟という地形で、潮の干満によって水位が変わる不思議な池です。池の東と南は大原地区に面しています。

大原と二之宮の境となる大池では、江戸時代から明治時代にかけて2つの村の間で、水の利用についての争いがたびたびおこりました。於保地区内には、それらを物語る神社や石碑があります。

昔からたくさんの野鳥が生息し、江戸幕府の将軍徳川家康は、ここで狩りをしたといわれています。現在、池の周りには、約1.3キロメートルの遊歩道や野鳥観察施設が整備されています。ぜひ、観察してみましょう。

くわしく調べるには

■中根金作が作った庭について

- ・『中根金作とその庭の美』
- ・『中根金作京都名庭百選』

■犬塚祐一郎について

- ・『豊岡村百話』
- ・『磐田ものがたり』
- ・『磐南平野の金字塔』

■野口在色について

- ・『図説磐田市史』
- ・『磐田ものがたり』

■千手について（※千寿と書かれていることもあります）

- ・『磐田むかしばなし』
- ・『磐田ものがたり』
- ・『千手と熊野』

■緑十字機について

- ・『緑十字機決死の飛行』
- ・『磐田ものがたり』

■大池について

- ・『大池周辺の生活』
- ・『遠江の鳥 バードウォッチングガイド 1,2』
- ・『磐田ことはじめ 第1編』

磐田市



磐田市イメージキャラクター



図書館ホームページ